

2024 内閣官房長官、外務大臣、文部科学大臣への要望	
期 日	2024（令和6）年6月18日
主 催	県・市議員連盟、県・市
要望先	林 芳正官房長官、上川 陽子外務大臣、盛山 正人文部科学大臣
参加者	国・県・市議員連盟会員、渡辺市長、橋本副知事ほか
内 容	イコモス勧告を踏まえた世界遺産委員国への働きかけ等

5 世界遺産登録に向けた機運の醸成

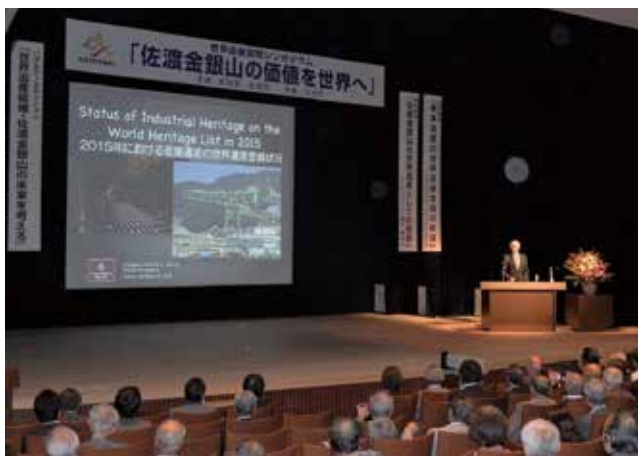
「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けて、県内はもとより首都圏・関西圏等への情報発信や住民の意識向上を目指し、様々な普及啓発活動を実施してきた。講演会やシンポジウム等の開催、出前授業・講座の実施、情報誌「金銀山だより」、各種ポスター・パンフレット、ガイドブック等の作成・配布などの手段により、登録に向けた取組の現状や佐渡金銀山の価値・魅力などを伝え機運の醸成と支援の広がり努めた。

1) 講演会・シンポジウム・展覧会等の開催

佐渡金銀山に関わる普及啓発事業は、2004（平成16）年の佐渡市誕生で世界遺産登録への意識向上を目指して翌年に佐渡島内で開催したことに始まる。2007（平成19）年には県・市に専属の部署が設置されたこともあり、普及啓発活動の一環として様々なテーマで講演会やシンポジウム等が県内・佐渡、首都圏で毎年実施したほか、2008（平成20）年には金をテーマにした巡回展（東京都・静岡県・山梨県）「金 GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」を開催した。

また、県内地域（上中下越）や佐渡島内旧市町村で行う巡回講座（講演）、同一地域での連続講座を開催し、より細やかな情報発信及び理解促進に努めた。

a) 東京開催



国際シンポジウム / イイノホール（2015年）



登録推進講演会 / 時事通信ホール（2020年）

表 県外での講演会等の記録

2011 佐渡金銀山講演会	
期 日	2011（平成23）年7月16日（土）
会 場	表参道・新潟館ネスパス
主 催	新潟県教育委員会、佐渡市、東京新潟県人会、首都圏佐渡連合会、新潟日報事業社
内 容	◇報告「佐渡金銀山の調査成果」 宇佐美 亮・若林 篤男（佐渡市世界遺産推進課主任） 「佐渡鉱山を撮る」 西山 芳一（産業遺産写真家） ◇講演「佐渡金銀山の世界的価値」 鈴木 一義（国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長）

2012 佐渡金銀山世界遺産講演会	
期日	2012 (平成 24) 年 6 月 2 日 (土)
会場	東京国立博物館 平成館「大講堂」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市、東京新潟県人会、首都圏佐渡連合会
内容	◇芸能「佐渡民謡」 新潟県立羽茂高校郷土芸能部 ◇講演「佐渡金銀山に残る貴重な産業遺産群」 永松 武彦 (株)ゴールデン佐渡顧問 「佐渡の町並みの魅力と価値ー相川地区を中心にー」 大場 修 (京都府立大学大学院教授)
2013 佐渡金銀山世界遺産講演会	
期日	2013 (平成 25) 年 7 月 7 日 (日)
会場	スクワール麴町「錦華」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市、東京新潟県人会、BSN 新潟放送
内容	◇講演「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」北村 亮 (新潟県文化行政課世界遺産登録推進室長) ◇ミニコンサート「篠笛演奏」 狩野 泰一 (篠笛奏者) ◇鼎談「佐渡金銀山と佐渡小判」宮田 亮平 (東京芸術大学学長) / 南 加乃子 (BSN 新潟放送報道制作局専門局長) / 余湖 明彦 (新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室副参事)
2015 世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山の価値を世界へ」	
期日	2015 (平成 27) 年 10 月 18 日 (日)
会場	イイノホール&カンファレンスセンター
主催	新潟県、佐渡市 共催：文化庁
内容	◇基調講演「産業資産の世界遺産登録の状況」 パトリック・マーチン (国際産業遺産保存委員会会長、ミガン工科大学研究教授) 「佐渡金銀山の世界遺産としての価値」 西村 幸夫 (日本イコモス国内委員会委員長、東京大学先端科学技術研究センター所長) ◇パネルディスカッション「世界遺産候補・佐渡金銀山の未来を考える」 コーディネーター：稲葉 信子 (筑波大学大学院教授) パネリスト：パトリック・マーチン (前出) / クリストファー・ヤング (前イングリッシュ・ヘリテージ国際政策担当責任者) / 岡田 保良 (国士舘大学イラク古代文化研究所教授) / 小風 秀雅 (お茶の水女子大学大学院教授) / 西村 幸夫 (前出) ◇アトラクション 「郷土芸能」相川音頭、佐渡おけさ (若波会)
2016 世界遺産登録推進講演会	
期日	2016 (平成 28) 年 10 月 22 日 (土)
会場	日本科学未来館「未来館ホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「鉱山絵巻に見る佐渡金銀山」 鈴木 一義 (国立科学博物館産業技術史資料情報センター長) ◇アトラクション「郷土芸能」鬼太鼓 (鼓志の会)、相川音頭・佐渡おけさ (若波会)
2017 佐渡金銀山世界遺産講演会「[宝の島 佐渡] の魅力を知る」	
期日	2017 (平成 29) 5 月 27 日 (土)
会場	ホテル東京ガーデンパレス
主催	佐渡市、佐渡を世界遺産にする会 (3 団体) 共催：新潟県、新潟県教育委員会
内容	◇郷土芸能 新潟県立羽茂高等学校郷土芸能部 ◇講演「文化財を活かした地域の活性化」 デービッド・アトキンソン (株)小西美術工藝社代表取締役社長) ◇世界遺産登録の早期実現を目指す集い (民間団体宣言)
2017 世界遺産登録推進シンポジウム「佐渡金銀山の価値と魅力を考える」	
期日	2017 (平成 29) 年 10 月 21 日 (土)
会場	スクワール麴町「錦華」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇基調講演「産業資産を考えるー国内の取組事例からー」 小風 秀雅 (お茶の水女子大学名誉教授) ◇パネルディスカッション「世界遺産候補 佐渡金銀山の未来を考える」 コーディネーター：岡田 保良 (国士舘大学イラク古代文化研究所教授) パネリスト：小風 秀雅 (前出) / 鈴木 一義 (国立科学博物館産業技術史資料情報センター長) / 小田 由美子 (新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室政策企画員) コメンテーター：レギーネ・マティアス (ドイツ・ルール大学東アジア研究学部日本史学科教授)

2019 佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会「鉱山都市相川の風景とその魅力～町歩きへのいざない～」	
期日	2019（平成31）年2月2日（土）
会場	星陵会館「ホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「鉱山都市としての風景－構造と変遷－」 清水 重敦（京都工芸繊維大学教授） 「景観を構成する代表的家屋の特徴」 若林 篤男（佐渡市世界遺産推進課主任） ◇アトラクション「郷土芸能」相川音頭、佐渡おけさ（若波会）
2020 佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会「佐渡の文化と金銀山」	
期日	2020（令和2）年1月26日（日）
会場	時事通信ホール
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「佐渡の文化と金銀山」池田 哲夫（新潟大学名誉教授） ◇アトラクション「郷土芸能」佐渡鷺流狂言「薩摩守」 佐渡鷺流狂言研究会
2023「佐渡島の金山」首都圏講座「甲斐・石見から佐渡へ」	
期日	2023（令和5）1月21日（土）
会場	東京新潟県人会館2階「ホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「甲斐・石見から佐渡へ－出土遺物への科学調査から探る戦国から江戸初期に至る金銀生産の変革－」 杓名 貴彦（国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長）
2024「金の道」フォーラム	
期日	2024（令和6）1月28日（日）
会場	東京交通会館12階「第一会議室A」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「鉱山と世界遺産－佐渡との比較において」河野俊行（国際記念物遺跡会議（ICOMOS）名誉会長 九州大学名誉教授） ◇パネルディスカッション

b) 県内開催



国際シンポジウム / 朱鷺メッセ（2013年）



世界遺産フォーラム / 新潟グランドホテル（2014年）



世界遺産セミナー / 朱鷺メッセ（2018年）

表 県内・本土側の講演会等の記録

2007 世界遺産講演会「日本を支えた佐渡鉱山」	
期日	2007（平成19）年12月8日（土）
会場	新潟県立生涯学習推進センター「ホール」
主催	新潟県教育委員会 共催：佐渡市教育委員会、(株)ゴールデン佐渡
内容	◇講演「佐渡に残る近代化遺産」 永松 武彦（(株)ゴールデン佐渡取締役社長）
2008「金 GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」	
期日	2008（平成20）年2月21日～4月19日
会場	新潟県立万代島美術館
主催	新潟県教育委員会、佐渡市教育委員会、新潟日報社、BSN新潟放送、金 GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展実行委員会
内容	◇基調講演「産業資産を考える－国内の取組事例から－」 小風 秀雅（お茶の水女子大学大学院教授） ◇パネルディスカッション「世界遺産候補 佐渡金銀山の未来を考える」 コーディネーター：岡田 保良（国土館大学イラク古代文化研究所教授） パネリスト：小風 秀雅（前出）／鈴木 一義（国立科学博物館理工学研究部主任研究官）／ 小田 由美子（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室政策企画員） コメンテーター：レギーネ・マティアス（ドイツ・ルール大学東アジア研究学部日本史学科教授）
2008 世界遺産講演会「金と銀の島佐渡～鉱山とその文化～」	
期日	2008（平成20）年11月3日（月・祝）
会場	朱鷺メッセ「中会議室301」
主催	新潟県「佐渡金銀山」登録推進議員連盟、新潟県教育委員会、佐渡市世界遺産登録推進議員連盟、佐渡市教育委員会
内容	◇講演「石見銀山 世界遺産登録に至るまで」 中村 俊郎（中村ブレイス(株)代表取締役社長、石見銀山資料館理事長） 「世界に誇る佐渡金銀山」 鈴木 一義（国立科学博物館理工学研究部主任研究官）
2009 シンポジウム「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」	
期日	2009（平成21）年3月20日（金・祝）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県「佐渡金銀山」登録推進議員連盟、新潟県教育委員会、佐渡市世界遺産登録推進議員連盟、佐渡市教育委員会
内容	◇基調講演「産業遺産の価値とその捉え方」 小風 秀雅（お茶の水女子大学大学院教授） ◇パネルディスカッション「佐渡金銀山遺跡を世界遺産に」 コーディネーター：上杉 建夫（新潟日報社佐渡支局長）／小風 秀雅（前出）／ 永松 武彦（(株)ゴールデン佐渡取締役社長）／高野 宏一郎（佐渡市長）
2009 国際シンポジウム「絵巻から見える佐渡金銀山」（文化庁「地域文化芸術振興プラン」）	
期日	2009（平成21）年12月20日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	文化庁、新潟県地域文化芸術振興プラン実行委員会、新潟県教育委員会、佐渡市、新潟大学旭町学術資料展示館
内容	◇伝統芸能「鷺流狂言（水懸舞）」 佐渡鷺流狂言研究会 ◇基調講演「日本の諸鉱山絵巻と比較した佐渡金銀山の特徴」 鈴木 一義（国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長） ◇講演「欧州における佐渡金銀山絵巻」 レギーネ・マティアス（ドイツ・ルール大学東アジア研究学部日本史学科教授） 「描き継がれた佐渡金銀山絵巻」 渡部 浩二（新潟県立歴史博物館主任研究員） ◇パネルディスカッション「絵巻から見える佐渡金銀山」 コーディネーター：鈴木 一義（前出） パネリスト：レギーネ・マティアス（前出）／渡部 浩二（前出）／ 橋本 博文（新潟大学旭町学術資料展示館長）／萩原 三雄（帝京大学山梨文化財研究所長）
2010 佐渡金銀山世界遺産講演会	
期日	2010（平成22）年11月27日（土）
会場	朱鷺メッセ「中会議室301」
主催	新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟 共催：新潟県教育委員会、佐渡市
内容	◇報告「鶴子銀山の調査成果」 宇佐美 亮（佐渡市世界遺産推進課主任） ◇講演「佐渡鉱山に産出した金銀鉱石の特徴」 井澤 英二（九州大学名誉教授） 「佐渡金銀山絵巻について」 植田 晃一（日本鉱業史研究会理事）

2012 世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	
期日	2012（平成24）年3月20日（火・祝）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	文化庁、新潟県教育委員会、佐渡市
内容	<p>◇伝統芸能「佐渡民謡～芸能と文化の島より～」 小木おけさ、相川音頭、七浦甚句、佐渡おけさ 新潟県立羽茂高校郷土芸能部</p> <p>◇報告「学術委員会報告」小風 秀雅（学術委員会委員長、お茶の水女子大学大学院教授）</p> <p>◇講演「世界を舞台とする産業遺産」パトリック・マーチン（国際産業遺産保存委員会会長） 「金属鉱業遺跡と世界遺産リスト」バリー・ギャンプル（世界遺産コンサルタント）</p> <p>◇パネルディスカッション「産業遺産としての佐渡金銀山の世界的価値」 コーディネーター：西村 幸夫（学術委員会委員、東京大学副学長） パネリスト：パトリック・マーチン（前出）/バリー・ギャンプル（前出）/ 稲葉 信子（学術委員会委員、筑波大学大学院教授）/ 市原 富士夫（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）</p>
2012 佐渡金銀山世界遺産フォーラム	
期日	2012（平成24）年11月25日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市、新潟大学、佐渡を世界遺産にする新潟の会、新潟日报社、BSN新潟放送
内容	<p>◇基調講演「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」松浦 晃一郎（前ユネスコ事務局長）</p> <p>◇パネルディスカッション「佐渡金銀山の魅力について」 コーディネーター：小林 啓之（新潟日报社報道部長） パネリスト：橋本 博文（新潟大学人文学部教授）/南 加乃子（BSN新潟放送報道制作局専門局次長）/ 上山 益男（佐渡を世界遺産にする新潟の会副会長）/ 澤邊 一郎（株）ゴールデン佐渡取締役社長</p> <p>◇アトラクション「鬼太鼓」 両津湊若松会鬼組</p>
2013 佐渡金銀山世界遺産講演会	
期日	2013（平成25）年6月2日（日）
会場	上越文化会館「中ホール」
主催	文化庁、新潟県教育委員会、佐渡市、新潟県上越地域振興局
内容	<p>◇講演「世界遺産候補 佐渡金銀山の魅力」吉田 博（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与） 「世界遺産を核とした地域づくりに向けて」志賀 秀一（東北地域環境研究室代表）</p>
2013 世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録を目指して」	
期日	2013（平成25）年11月10日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	文化庁、新潟県教育委員会、佐渡市
内容	<p>◇報告「学術委員会報告」小風 秀雅（学術委員会委員長）</p> <p>◇基調講演「佐渡金銀山の顕著な普遍的価値は何か」 クリストファー・ヤング（イギリス・ハリッジ世界遺産・国際政策担当責任者） 「世界文化遺産登録の近年の状況」 西村 幸夫（学術委員会委員、東京大学先端科学技術研究センター長）</p> <p>◇パネルディスカッション「佐渡金銀山 世界遺産登録への課題」 コーディネーター：篠原 修（学術委員会委員、東京大学名誉教授） パネリスト：郭 旃（国際記念物遺跡会議副委員長）/クリストファー・ヤング（前出）/ 岡田 保良（学術委員会委員、国士舘大学イラク古代文化研究所教授）/西村 幸夫（前出）</p> <p>◇オブザーバー シンシア・ダニング（国際記念物遺跡会議専門委員、スイス・アーケオコンセプト責任者）</p>
2014 平成26年度世界遺産連続講演会 第1回（上越会場）「～金の道・北国街道サミット～」	
期日	2014（平成26）年8月31日（日）
会場	上越文化会館「中ホール」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市、北国街道の手をつなぐ会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
内容	<p>◇講演「江戸幕府の財政を支えた金の道」 余湖 明彦（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室副参事）</p> <p>◇パネルディスカッション「金の道～北国街道に見る文化と歴史～」 コーディネーター：池田 哲夫（佐渡を世界遺産にする新潟の会会長） パネリスト：渡邊 剛忠（佐渡学センター所長）/三輪 正（道の駅 越後出雲崎天領の里館長）/ 花岡 公貴（上越市立総合博物館主任学芸員）/花ヶ前 盛明（上越郷土研究会会長）/ 佐藤 慎（妙高市教育委員会生涯学習課主査）/金子 潤次（北国街道の手をつなぐ会会長）</p>

2014 佐渡金銀山世界遺産フォーラム「甦る鉱山都市の記憶 佐渡金銀山を世界遺産に」	
期日	2014（平成26）年10月19日（日）
会場	新潟グランドホテル「悠久の間」
主催	新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟 共催：新潟県教育委員会、佐渡市 協力：逞い文化を創る会
内容	◇基調講演「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」 松浦 晃一郎（前ユネスコ事務局長） 「日本の鉱山史研究と佐渡金銀山遺跡」 萩原 三雄（帝京大学山梨文化財研究所長） ◇パネルディスカッション「甦る鉱山都市の記憶」 コーディネーター：西村 幸夫（日本イコモス国内委員長） パネリスト：五十嵐 敬喜（法政大学教授・日本景観学会会長）／岩槻 邦男（東京大学名誉教授）／ 萩原 三雄（前出）／松浦 晃一郎（前出）

2014 佐渡金銀山 世界遺産連続講演会 第2回（長岡会場）	
期日	2014（平成26）年12月21日（日）
会場	シティホールプラザ アオーレ長岡
主催	新潟県、佐渡市、新潟市ユネスコ協会、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
内容	◇基調講演「世界遺産候補 佐渡の魅力」 吉田 博（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与） ◇講演「小千谷縮・越後上布 ユネスコ向け異文化緯線登録までの道のりと未来への継承」 山岸 良三（越後上布・小千谷縮布技術保存協会副会長） ◇アトラクション 「綾子舞」 柏崎市綾子舞保存振興会・高原田保存会

2015 佐渡金銀山 世界遺産連続講演会 第3回（新潟会場）	
期日	2015（平成27）年2月1日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県、佐渡市、新潟市ユネスコ協会、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会、佐渡を世界遺産にする首都圏の会
内容	◇講演「世界遺産と文化の力」 近藤 誠一（前文化庁長官） ◇学習発表 新潟市立松野尾小学校、阿賀町立津川小学校

2016 世界遺産セミナー「なるほど！なっとく！佐渡金銀山の魅力発見」	
期日	2016（平成28）年1月31日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「世界遺産候補 佐渡金銀山の見どころ」 吉田 博（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与） ◇学習発表 五泉市立五泉小学校 ◇ビデオレター 佐渡市立相川中学校 ◇紙芝居披露 「こがねの山～佐渡金銀山発見伝～」 作画：黒井 健（新潟市出身、絵本作家） ◇トークショー ブリカツくん、新潟お笑い集団NAMARA

2017 世界遺産セミナー「魅力ザクザク！佐渡金銀山の価値を世界へ」	
期日	2017（平成29）年2月4日（土）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「世界遺産を目指して～伝えていこう！佐渡金銀山の魅力と輝き～」 本田 陽子（NPO法人 世界遺産アカデミー 研究員） ◇学習発表 新潟市立阿賀小学校 ◇佐渡金銀山フォトコンテスト入賞者表彰式

2018 世界遺産セミナー「世界に伝えよう！佐渡金銀山の魅力と価値」	
期日	2018（平成30）年2月12日（月・振）
会場	新潟市民プラザ
主催	新潟県、佐渡市 共催：新潟市
内容	◇講演「最近の世界遺産の動向について」 河野 俊行（国際イコモス会長、九州大学法学研究院主幹教授） ◇学習発表 新潟市立庄瀬小学校

2018 世界遺産セミナー「未来へつなごう！佐渡金銀山の魅力と輝き」	
期日	2018（平成30）年11月18日（日）
会場	朱鷺メッセ「マリンホール」
主催	新潟県、佐渡市
内容	◇講演「世界文化遺産に求められる価値とその発信」 下田 一太（文化庁文化財部記念物課世界文化遺産室文化財調査官） ◇学習発表 新発田市立米子小学校、魚沼市立堀之内小学校
2022 佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会	
期日	2022（令和4）年2月13日（日）
会場	新潟市民プラザ
主催	新潟県、佐渡市 共催：新潟市
内容	◇講演「日本史を動かした佐渡金銀山～その知られざる山での採掘・生活・文化～」 河合 敦（歴史作家、多摩大学客員教授） ◇学習発表 新発田市立米子小学校、魚沼市立堀之内小学校

c) 佐渡開催



国際シンポジウム / 北沢浮遊選鉱場跡（2010年）



佐渡金銀山シンポジウム / トキのむら元気館

表 佐渡市内の講演会等の記録

2005 シンポジウム『生産遺跡から探る「モノづくり」の歴史』 「佐渡金銀山遺跡を見る視座－外から見る・内から見る－」	
期日	2005（平成17）年7月2日（土）
会場	相川開発総合センター「大集会室」
主催	文部科学省科研費特定領域研究「江戸のモノづくり」計画研究、佐渡市
内容	◇基調講演「生産遺跡が教えてくれること」 村上 隆（奈良文化財研究所主任研究官） ◇講演「石見銀山から見た佐渡金銀山」 仲野 義文（石見銀山資料館学芸員） 「未公開絵巻に見る佐渡金銀山」 鈴木 一義（国立科学博物館主任研究官） 「佐渡金銀山遺跡の現状と展望」 斎藤 本恭（佐渡市教育委員会生涯学習課佐渡金銀山室主事） 「地質及び鉱床より見た佐渡鉱山の歴史」 永松 武彦（㈱ゴールデン佐渡取締役社長） ◇パネルディスカッション コーディネーター：村上 隆（前出） パネリスト：仲野 義文、鈴木 一義、斎藤 本恭、永松 武彦（前出）
2005・2006 佐渡文化遺産講演会 第1回・第2回	
期日	第1回2005（平成17）年11月19日（土）、第2回2006（平成18）年6月2日（金）
会場	第1回佐渡島開発総合センター、第2回真野ふるさと会館
主催	佐渡市教育委員会
内容	第1回「世界遺産と佐渡の文化」 五味 文彦（東京大学大学院教授） 第2回「絵巻に見る佐渡金銀山」 鈴木 一義（国立科学博物館主任研究官）

2006 佐渡世界遺産シンポジウム「佐渡 島の金銀山と歴史と文化」	
期日	2006（平成18）年10月30日（月）
会場	アミューズメント佐渡「大ホール」
主催	佐渡市教育委員会
内容	<p>◇講演「金銀山から島の歴史と文化を考える」 田中 圭一（元筑波大学教授）</p> <p>◇パネルディスカッション「日本の近代化を支えた佐渡鉱山の歴史と現状」 コーディネーター：石瀬 佳弘（前佐渡市教育長） パネリスト：川北 鎮雄（元三菱マテリアル取締役）／庄谷 邦幸（桃山学院大学名誉教授）／ 鈴木 一義（国立科学博物館主任研究官）／永松 武彦（㈱ゴールデン佐渡取締役社長）／ 中村 賢二郎（杉野学園理事長、元文化庁文化財部長）／ 萩原 三雄（帝京大学山梨文化財研究所長）／村上 隆（奈良文化財研究所上席研究員）</p>
2007 佐渡世界遺産シンポジウム「日本の近代化を支えた佐渡鉱山」	
期日	2007（平成19）年9月23日（土）
会場	アミューズメント佐渡「大ホール」
主催	新潟県、新潟県教育委員会、佐渡市、佐渡市教育委員会
内容	<p>◇基調講演「世界の産業遺産と佐渡の未来」 スチュアート・スミス（国際産業遺産保存委員会事務局長）</p> <p>◇パネルディスカッション 第1部「日本の近代化を支えた佐渡鉱山の歴史と現状」 講演 「近世の佐渡鉱山の特徴」 鈴木 一義（国立科学博物館理工学研究部研究主幹） 「明治以降の近代化の歴史」 永松 武彦（㈱ゴールデン佐渡取締役社長） 第2部「佐渡鉱山を未来にどう活かすか」 コーディネーター：鈴木 一義（前出） パネリスト：木村 勉（長岡造形大学造形学部教授）／稲葉 信子（東京文化財研究所文化遺産国際協力センター上席研究員・国際企画情報研究室長）／永松 武彦（前出）</p>
2010 シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」	
期日	2010（平成22）年6月27日（日）
会場	両津文化会館
主催	新潟県、佐渡市
内容	<p>◇基調講演「歴史遺産を活かした地域づくり」 志賀 秀一（東北地域環境研究室代表） 「佐渡金銀山の魅力と価値」 永松 武彦（㈱ゴールデン佐渡取締役社長）</p> <p>◇パネルディスカッション「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」 コーディネーター：大野 裕夫（新潟県副知事） パネリスト：志賀 秀一（前出）／永松 武彦（前出）／高野 宏一郎（佐渡市長）／ 吉田 博（新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与）</p>
2010 世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡金銀山の遺産群」	
期日	2010（平成22）年10月17日（日）
会場	相川開発総合センター
主催	文化庁、新潟県教育委員会、佐渡市
内容	<p>◇基調講演「佐渡金銀山の産業遺産としての価値」 マイルズ・オグリソープ（ヒストリック・スコットランド政策責任者、国際産業遺産保存委員会英国代表）</p> <p>◇パネルディスカッション「産業遺産としての佐渡金銀山の価値と今後の整備・活用」 コーディネーター：小風 秀雅（お茶の水女子大学大学院教授） パネリスト：稲葉 信子（筑波大学大学院教授）／澤邊 一郎（㈱ゴールデン佐渡取締役社長）／ 篠原 修（政策研究大学院大学教授）／本中 眞（文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官）</p> <p>【関連イベント】北沢浮遊選鉱場跡（10/16） ◇講演会「今、何故、遺産、文化、景観なのか」 篠原 修（前出） ◇音楽演奏 シティバンド両津</p>
2011 佐渡世界遺産フォーラム「佐渡ジオパークと世界遺産教育」	
期日	2011（平成23）年3月6日（日）
会場	金井能楽堂
主催	新潟大学旭町学術資料展示館、佐渡市教育委員会
内容	<p>◇講演「ジオパークと世界遺産教育」 橋本 博文（新潟大学旭町学術資料展示館長） 「糸魚川ジオパークの教育活動」 竹之内 耕（糸魚川市フォッサマグナミュージアム学芸係長） 「新潟大学で学んだことー佐渡の金を探るー」 市橋 弥生（新潟大学大学院自然科学研究科2年）</p>

2011 佐渡金銀山世界遺産講演会「[平泉]に学ぶ世界遺産への道」	
期日	2011(平成23)年11月19日(土)
会場	アミューズメント佐渡「小ホール」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市
内容	◇講演「世界遺産登録は平泉をどう変えたか」八重樫 忠郎(岩手県平泉町建設水道課長補佐)
2012 世界遺産国際シンポジウム「歴史資料から見る佐渡金銀山」	
期日	2012(平成24)年10月13日(土)
会場	アミューズメント佐渡「小ホール」
主催	新潟県教育委員会、佐渡市
内容	◇調査報告「鉱山絵巻から見る佐渡金銀山」渡部 浩二(新潟県立歴史博物館主任研究員) 「実習報告から見た近代佐渡鉱山の技術」 内藤 隆夫(北海道大学大学院経済学研究科准教授) 「古写真・鉱山図面から見る近代佐渡鉱山の変遷」 余湖 明彦(新潟県立文書館副館長) ◇講演「欧州・アメリカにおける佐渡金銀山絵巻」 レギーネ・マティアス(ドイツ・ルール大学東アジア研究学部日本史学科教授) ◇パネルディスカッション「歴史資料から見る佐渡金銀山」 コーディネーター:小風 秀雅(お茶の水女子大学大学院教授) パネリスト:レギーネ・マティアス(前出)/内藤 隆夫(前出)/仲野 義文(石見銀山資料館長)
2013 佐渡金銀山シンポジウム「日本の金銀山と佐渡金銀山」	
期日	2013(平成25)年10月6日(日)
会場	トキのむら元気館
主催	佐渡市、新潟県教育委員会 共催:考古学と中世史研究会
内容	◇基調講演「日本の金銀山と佐渡金銀山」五味 文彦(放送大学教授、東京大学名誉教授) ◇発表「日本の金銀山」尾崎 高宏(新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室主任調査員) 「佐渡金銀山(1)」宇佐美 亮(佐渡市世界遺産推進課主任) 「佐渡金銀山(2)」相羽 重徳(佐渡市世界遺産推進課学芸員) 「美利河砂金採掘跡・カニカン岳金山跡」寺崎 康史(北海道今金町教育委員会事務局次長) 「黒川金山」飯島 泉(山梨県甲州市教育委員会生涯学習課副主管) 「石見銀山」遠藤 浩巳(島根県大田市総務部人権推進課課長補佐) 「山ヶ野金山」新田 栄治(鹿児島大学法文学部教授) ◇問題提起 萩原 三雄(帝京大学文化財研究所長) ◇パネルディスカッション「日本の鉱山遺跡」 コーディネーター:小野 正敏(人間文化研究機構理事) パネリスト:上記参加者
2014 平成26年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①~③	
期日	①9月27日(土)、②10月22日(水)、③11月4日(火)
会場	①羽茂地区公民館、②佐渡島開発総合センター、③金井コミュニティセンター
主催	佐渡市 共催:佐渡を世界遺産にする会
内容	◇講演「佐渡 世界遺産への道」吉田 博(新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室参与)
2014 シンポジウム「ワンダーアイランド佐渡」	
期日	2014(平成26)年11月2日(日)
会場	アミューズメント佐渡(大・小ホール)
主催	佐渡市、佐渡市教育委員会
内容	◇基調講演「世界産金史の中の佐渡金山の特徴」井澤 英二(九州大学名誉教授) ◇パネルディスカッション「佐渡の成り立ちを3資産から考える」 コーディネーター:渡邊 剛忠(佐渡学センター所長) パネリスト:井澤 英二(前出)/島津 光夫(新潟大学名誉教授)/永田 明(国連大学サステナビリティ 高等研究所研究員) ◇体験コーナー「砂金採り」「金塊つかみ」等

2015 基調講演&シンポジウム「佐渡から江戸文化が見える」	
期日	2015（平成27）年6月20日（土）
会場	国指定史跡 北沢浮遊選鉱場跡
主催	佐渡市、佐渡を世界遺産にする会（3団体）
内容	◇基調講演「佐渡から江戸文化がみえるー内からの目、外からの目ー」 田中 優子（法政大学総長） ◇パネルディスカッション コーディネーター：田中 優子（前出） パネリスト：松田 祐樹（NPO法人佐渡芸能伝承機構代表）/中野 奈美子（風待ちの会）/甲斐 元也（佐渡市長）
2015（平成27）年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①・②	
期日	2015（平成27）年 ①6月26日（金）、②9月12日（土）
会場	①赤泊総合文化会館「多目的ホール」、②相川開発総合センター「大集会室」
主催	佐渡市 共催：佐渡を世界遺産にする会
内容	◇講演 ①「佐渡の暮らしを世界に誇る」 岩立 恒（佐渡ジオパークガイド協会副会長） ②「世界遺産の町 平泉の取組」 八重樫 忠郎（岩手県平泉町総務企画課長補佐）
2015 相川 国重要文化的景観選定記念シンポジウム	
期日	2015（平成27）年11月1日（日）
会場	佐渡奉行所
主催	新潟県、佐渡市、佐渡市教育委員会、相茶会
内容	◇基調講演「今、何故、遺産・文化・景観なのか」 篠原 修（東京大学名誉教授） 「各地の町並み保存の取組み」 木村 勉（長岡造形大学教授）
2015 金の道サミット in 佐渡「歴史あるまちなみを活かした地域づくり」	
期日	2015（平成27）年11月7日（土）
会場	あいぽーと佐渡「多目的ホール」
主催	佐渡市
内容	◇基調講演「地域の文化資源を生かしたまちづくり」 池邊 このみ（千葉大学大学院教授） ◇伝統芸能 新潟県立羽茂高校郷土芸能部 ◇学習発表「ぼくらが伝える黄金伝説」 佐渡市立相川小学校6年生 ◇パネルディスカッション「歴史・文化を活かした地域づくり」 コーディネーター：池邊 このみ（前出） パネリスト：佐藤 亨（出雲崎町教育長）/会田 洋（柏崎市長）/関原 貢（上越市副市長）/ 小林 啓一（妙高市教育長）/高見 真二（長岡市副市長）/南波 瑞夫（燕市副市長）/ 吉川 弘義（長野県千曲市教育長）/甲斐 元也（佐渡市長）
2018（平成28）年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①・②	
期日	2016（平成28）年 ①9月10日（土）、②10月1日（土）
会場	①佐渡奉行所「地方役所」、②小木マリンプラザ「大ホール」
主催	佐渡市 共催：佐渡を世界遺産にする会
内容	◇講演 ①「世界遺産（紀伊山地の霊場と参詣道）の保存と活用」 辻林 浩（和歌山県世界遺産センター長） ②「佐渡金銀山と北国街道」 金子 潤次（北国街道の手をつなぐ会・妙高市北国街道研究会長）
2019（令和1）年度 佐渡金銀山遺跡講演会①～③	
期日	①2019（令和1）年5月25日（土）、②7月6日（土）、③2020（令和2）年2月15日（土）
会場	きらりうむ佐渡「講堂」
主催	佐渡市、新潟県
内容	◇講演 ①「江戸時代における佐渡の鉱山技術の変遷」 萩原 三雄（帝京大学文化財研究所長） ②「絵巻から見る佐渡金銀山の歴史と文化」 渡部 浩二（新潟県立歴史博物館専門研究員） ③「17世紀 慶長元和の佐渡における技術変革：銀山から金山へ」 井澤 英二（九州大学名誉教授）
2020 佐渡金銀山遺跡講演会	
期日	2020（令和2）年10月24日（土）
会場	あいかわ開発総合センター「大集会室」
主催	佐渡市、新潟県
内容	◇講演「佐渡金銀山遺跡を通じて～地域の文化を慈しみ、わが町を育む～」 坂井 秀弥（（公財）大阪府文化財センター理事長）

2021 シンポジウム「佐渡島の金山」を世界遺産に	
期日	2021（令和3）年9月5日（日）
会場	アミューズメント佐渡「大ホール」
主催	新潟県（佐渡地域振興局）、（一財）自治総合センター
内容	◇基調講演「わくわくドキドキ！ 世界遺産」 本村 健太郎（俳優／弁護士 世界遺産検定マイスター） ◇パネルディスカッション「世界遺産で佐渡はどうなる？」 コーディネーター：伊藤 聡子（キャスター、事業創造大学院大学客員教授） パネリスト：本村 健太郎（前出）／藤原 岳史（㈱NOTE 代表取締役）／庄山 忠彦（佐渡を世界遺産にする会事務局長）／河野 雅利（㈱ゴールデン佐渡 取締役社長）

2) 出前授業・出前講座の実施

「佐渡島の金山」の保存と継承について次世代を担う児童・生徒や企業・団体に対し、要請に応じて講師を派遣する出前授業・出前講座を実施した。佐渡島外は県、島内は市がそれぞれ担当している。

a) 出前授業

出前授業の対象は、佐渡への修学旅行や校外学習の事前学習としての実施が大半であるが、総合学習の一環として中学・高校等からの要請も受けている。2011（平成23）年度から実施しており、当初は県・市の職員が担当していたが、2015（平成27）年からは支援団体である「佐渡を世界遺産にする会」（島外は「佐渡を世界遺産にする新潟の会」）の会員に講師を委託している。最近では100～150校で推移しているが（2020年は新型コロナによる修学旅行中止のため減少）、講師の高齢化など今後の実施に課題もある。

なお、佐渡市では毎年の校外学習の一環として学校での事前学習のほか、現地での説明にも対応している。



新潟市立金津中学校（2016年）



新潟市立新津第一小学校（2017年）※マスコミ取材



新潟市立小合小学校（2020年）



柏崎市立榎原小学校（2021年）※オンライン開催

表 出前授業の年度別実績

	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新潟県	55	48	43	62	90	117	114	138	121	79	149	113	124	106
佐渡市	—	—	10	8	16	21	21	20	19	22	16	12	13	22

※内訳【新潟県】小学校の佐渡修学旅行の事前学習、中学・高校の総合学習

【佐渡市】小・中・高校等の校外学習の事前学習

b) 出前講座

公民館活動、企業・団体の研修会、町内会の集まりなど様々な場面で、要請により県・市の職員が講師となって実施している。実施件数は年により増減が見られるが、国内推薦候補に選定された翌年（2021年）には県で20件、市では30件を超え関心の高まりと登録への期待が感じられた。



首都圏支援団体総会（2015年）



地元経済団体講演会（2021年）

表 出前講座の年度別実績

	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新潟県	6	17	10	7	12	8	7	4	12	24	9	20
佐渡市	33	52	42	42	26	37	28	13	30	37	41	33
県外	0	0	1	0	0	3	0	0	0	3	1	2

※内訳【新潟県】公民館の生涯学習講座等、企業・団体・町内会等の研修会・講演会等

【佐渡市】集落・企業・官公庁・大学等への出張説明（現地見学時含む）、他県市町村議会の行政視察

3) 広報・情報発信資料等

2007（平成19）年に県と市が共同で取組を開始して以降、常に佐渡金銀山の認知度向上が課題として指摘されてきたが、講演会・シンポジウムなどの開催と合わせて様々な広報ツールを作成し情報発信に努めた。

a) パンフレット・ガイドブック・児童生徒向け学習教材

資産名称や構成資産、価値内容等の変更に伴い適宜改訂を行い、各種普及啓発事業などの場で配布した。また、小学校及び中・高校生向けの学習教材を作成し、島内の児童・生徒の郷土学習に活用した。



パンフレット



ガイドブック



マンガパンフレット



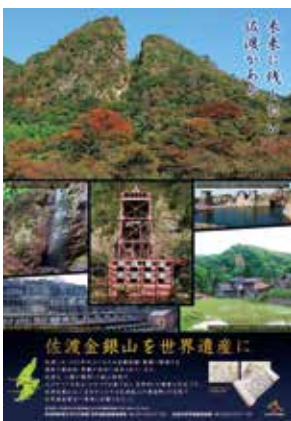
マンガリーフレット



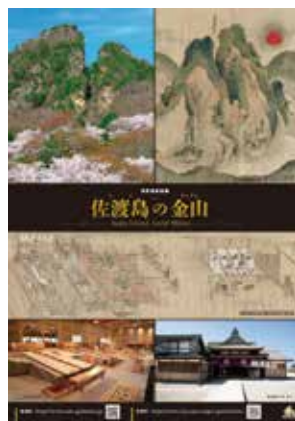
ポケットガイドブック（A5・A6判） 相川リーフレット・発見まっぷ 児童・生徒向学習教材

b) ポスター・リーフレット・バナー・のぼり旗・クリアファイル

取組を紹介するポスターやチラシを作成し、県民会議会員団体や公共施設等に配布して掲出をお願いした。



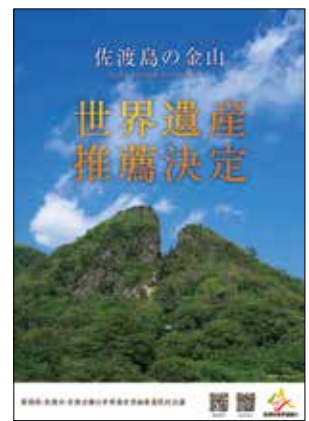
「佐渡金銀山」ポスター（2010年）



「佐渡島の金山」ポスター（2020年）



サッカークラブとのコラボポスター（2023年）



推薦決定ポスター



「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」リーフレット



左記4か国版（英語、中国語繁体・簡体、韓国語）



「佐渡島の金山」リーフレット（2024年）



クリアファイル各種



「佐渡鉱山の遺産群」バナースタンド



幟旗各種



ミニ幟旗各種

c) 広報誌

調査研究の成果や取組状況をお知らせするために2010（平成22）年3月に「佐渡金銀山だより」を創刊し、年2回（3・9月）の発行で最新の登録決定特別号を含めて現在まで28冊刊行されている。



「金銀山だより」(2010年～)

「あいかわらばん」(2013年～2019年)

d) メディア等を活用した発信

首都圏や全国に向けての情報発信に関する取組として2016(平成28)年に、新聞・雑誌・インターネット等の各種メディアの活用や東京メトロ「霞ヶ関駅」「虎ノ門駅」にポスターを集中掲示してPRを行った。



虎ノ門駅ポスター掲出(2016年)



霞ヶ関駅ポスター掲出(2017年)



月刊誌記事(2016年)



新聞広告東京都内版(2017年)



週刊誌広告(2017年)

e) ラッピングバス

PR活動の一環として、佐渡島内と新潟市内の路線バス・高速バス車体に佐渡鉱山の風景をプリントしたラッピングバスを運行した。



路線バスラッピング
(新潟市内・佐渡島内)



高速バスラッピング (新潟～東京)



公用バスラッピング (佐渡市)

f) 普及啓発物品 (貸出)

イベントでの使用や貸出を目的に、水上輪 (排水機械) や金塊つかみ体験セットを作成した。また、絵本作家の黒井健氏に依頼して、児童・生徒向けに相川金銀山の発見経緯を題材にした紙芝居を制作し島内の図書館に配布した。



金塊つかみ体験セット



水上輪 (排水体験ミニチュア)



紙芝居「こがねの山」(2016年)



金銀山絵巻 (レプリカ)



佐渡小判 (レプリカ)



金鉱石

g) ポスターコンクール・写真コンテスト

世界遺産登録への取組の周知と作品の普及啓発素材としての使用を目的に、ポスターコンクール (2012年: 応募数 70点、2014年: 応募数 69点) とフォトコンテスト (2016年: 応募数 246点) を実施した。

【ポスターコンクール】2012 (平成 24) 年



金賞



銀賞



銅賞

2014（平成26）年



金賞



銀賞



銅賞

【フォトコンテスト】



最優秀賞



優秀賞



優秀賞



優秀賞

h) ロゴマーク

2007（平成19）年に、活動のシンボルとなるロゴマークを公募した。また、2025（令和7）年には登録後の新たなロゴマークも公募により選定した。



登録前



ピンバッチ・缶バッチ



登録後

4) ガイダンス施設の整備

2つの地域からなる「佐渡島の金山」は、シリアル資産であり、価値の全体像を一元的に理解してもらうことが必須となる。そのために、資産の中心となる相川地区にビジターセンター「きらりうむ佐渡」を設置し、一般的にはなじみの薄い「鉱山」や「鉱山技術」について分かりやすく解説し、現地来訪に関わる情報を提供している。

この他、西三川砂金山エリアや相川鶴子金銀山エリアにおいては、資産範囲内や近接地に既存の博物館・資料館などがあり、これらの施設を「サテライトガイダンス施設」と位置付け、それぞれの場所が担った機能・性質を情報提供している。これら施設の役割を明らかにすることで、効果的な解説及び情報提供が可能となっている。

現在、相川鶴子金銀山エリアには、既存の金山展示資料館（民間施設）、佐渡奉行所跡、相川郷土博物館、相川技能伝承館といった施設が点在している。各施設では、その場所の立地や特徴を活かし、金生産技術や鉱山活動に従事した人々の暮らしについての情報を提供している。また、広域に分布する採掘地では、鉱業権者の株式会社ゴールデン佐渡が代表的な坑道の一部を来訪者に公開している。

西三川砂金山エリアでは、案内図及び誘導・解説のためのサインを設置している。現地ガイドが配置され、

詳細な情報を提供する拠点施設として旧西三川小学校笹川分校に便益施設と展示の整備を行っている。また、西三川砂金山の西側にある「佐渡西三川ゴールドパーク」（民間施設）もサテライトガイダンス機能を持っており、金に関する一般的な情報や砂金山の歴史を紹介する展示を行っているほか、砂金採取の体験もできる。2020（令和2）年から保存修理を行っている金子勘三郎家住宅では、砂金山の鉱山集落の雰囲気や人々の暮らしを伝える施設として活用することを踏まえ、修理・整備に着手している。

表 「佐渡島の金山」 関連ガイダンス施設

No.	名前	所在地	関連資産	内容
1	きらりうむ佐渡	佐渡市相川3 丁目浜町18-1	西三川砂金山 鶴子银山 相川金银山	映像をメインとした展示、佐渡金銀山の価値や前近代・近代の金生産技術の解説。
2	佐渡西三川ゴールドパーク	佐渡市西三川 835- 1	西三川砂金山	砂金鉱床や西三川砂金山の歴史、生産技術、実物などの展示。砂金採取体験。
3	旧西三川小学校笹川分校	佐渡市西三川 462- 7	西三川砂金山	西三川砂金山の歴史や文化的景観、鉱山居住域の生活などのパネル展示。
4	金山展示資料館	佐渡市下相川 1305	相川金银山	江戸時代の金生産に関する展示、金鉱脈と坑道の解説、金生産を用いた道具の展示。
	機械工場	佐渡市相川宗徳町 1- 1	相川金银山	明治時代以降の機械類の実物展示、鉱山稼働時の映像や古写真の展示。
5	史跡佐渡奉行所跡	佐渡市相川広間町 1- 1	相川金银山	建造物の復元、選鉱作業の一部施設の復元展示。
6	相川郷土博物館	佐渡市相川坂下町 20	相川金银山	旧鉱山事務所などを活用し、鉱山の機械化が行われた時代の資料や古写真などを展示。2024 年リニューアルオープン。
7	相川技能伝承館	佐渡市相川北沢町 2	相川金银山	鉱山文化の紹介・体験。



「きらりうむ佐渡」（ビジターセンター）



「きらりうむ佐渡」 資産全体の解説を行う映像



「きらりうむ佐渡」 プロジェクションマッピングと映像による解説



「きらりうむ佐渡」 資産来訪者向け情報掲示板



金山展示資料館（ゴールデン佐渡）



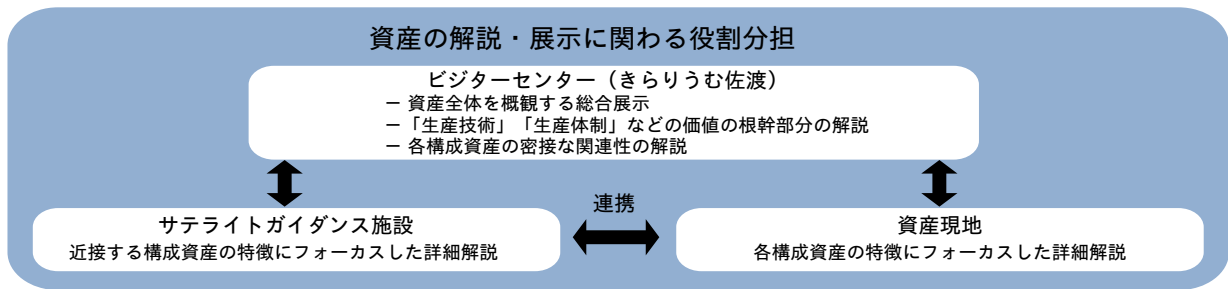
佐渡奉行所跡 勝場（せりば）



旧西三川小学校笹川分校内



佐渡西三川ゴールドパーク（砂金採り体験施設）



資産の解説・展示に関わる役割分担

5) 国際的理解促進に向けた取組

世界遺産登録に向けた機運醸成と認知度向上を図るため、関係機関と連携し、国内外において「佐渡島の金山」の海外向けプロモーション活動を実施した。主な活動は下表のとおりである。

表 主な取組

日本へのクリエイティブな旅展 2022 (Creative Travel to Japan 2022) でのプロモーション	
期日	2022 (令和4) 年6月14日～17日
会場	国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) パリ本部 (セギュールホール、パペルデュホール、ミロホール)
主催	日本へのクリエイティブな旅展実行委員会
みなとまち新潟&佐渡島の金山 茶会セミナー	
期日	2022 (令和4) 年11月6日
会場	旧斎藤家別邸
主催	新潟県・佐渡市
G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議 オプショナルツアー “歴史・文化と金山” 佐渡探訪コース	
期日	2023 (令和5) 年5月14日
会場	佐渡島内 (史跡佐渡金山・佐渡奉行所・鐘楼・京町通り等)
主催	G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進協議会
駐日外交団による地方視察ツアー (佐渡ツアー)	
期日	2023 (令和5) 年10月12日～13日
会場	佐渡島内 (きらりうむ佐渡、史跡佐渡金山、佐渡奉行所等)
主催	外務省・新潟県・佐渡市
知事による「佐渡島の金山」PR セミナー・世界遺産委員国ユネスコ大使表敬訪問	
期日	2023 (令和5) 年11月30日～12月2日
会場	パリ・ユネスコ日本政府代表部大使公邸ほか
地方の魅力を世界に発信するプロジェクト 外務大臣及び新潟県知事共催レセプション 新潟県・佐渡市共催 セミナー「佐渡島の文化と金山」	
期日	2024 (令和6) 年1月23日
会場	外務省 飯倉公館
主催	レセプション：外務大臣・新潟県知事
駐日インド大使館訪問	
期日	2024 (令和6) 年2月15日
会場	駐日インド大使館
日本へのクリエイティブな旅展 2024 (Creative Travel to Japan 2024) でのプロモーション	
期日	2024 (令和6) 年3月22日、25～28日
会場	国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) パリ本部 (パペルデュホール、ミロホール)
主催	日本へのクリエイティブな旅展実行委員会
知事による「佐渡島の金山」PR セミナー・世界遺産委員会ユネスコ大使表敬訪問	
期日	2024 (令和6) 年3月26日
会場	パリ日本文化会館ほか
世界遺産委員国の駐日外交団による佐渡ツアー	
期日	2024 (令和6) 年4月25日～26日
会場	佐渡島内 (宗太夫坑、きらりうむ佐渡、佐渡奉行所、笹川集落等)
主催	新潟県・佐渡市
世界遺産登録決定記念・海外メディア向け広報イベント 新潟県「佐渡」の食・文化 - 日本海側最大の離島が育む多様性 -	
期日	2024 (令和6) 年11月26日
会場	銀座・新潟情報館 THE NIIGATA 3階イベントスペース
主催	新潟県



日本へのクリエイティブな旅展 2022



G7 新潟財務大臣・中央銀行総裁会議
オプションツアー（2023年）



駐日外交団による地方視察ツアー（2023年）



世界遺産委員国の駐日外交団による佐渡ツアー
(2024年)



地方の魅力を世界に発信するプロジェクト
(2024年)



世界遺産登録決定記念・海外メディア向け広報イベント
(2024年)